

## 平成 23 年度西日本弁理士クラブ若手会主催

### 「特許 拒絶理由対応の実務 第 1 回・第 2 回」 開催報告

平成 23 年 11 月 2 日（水）・26 日（土）に、「特許 拒絶理由対応の実務 第 1 回・第 2 回」と題した研修を開催いたしました。第 1 回目は 26 名、第 2 回目は休日であったにもかかわらず、23 名の方にご参加いただきました。

この研修は、「受講者が主役となり、実務に役立つ何かを発見する」というコンセプトの下、全員が同じ案件について、事前に客先コメント、意見書・補正書を起案、提出し、その起案に基づいてグループディスカッション形式、及び講師による講義形式で研修を行いました。

第 1 回目は、「客先コメントをどのように書くべきか」について、ディスカッション及び講義を行いました。どの班も、事務所・企業の枠を超えて活発なディスカッションが行われ、「ディスカッション時間が足りない」という感想を多数いただきました。その後のグループ発表でも様々な意見があり、他の班の意見を聞いて、熱心にメモをとったり、頷いたりする方もおられました。



その後、講師の板谷先生から、グループ発表や起案の講評、好ましいコメントのあり方等について講義がありました。講義では、企業と特許事務所を経験された板谷先生ならではの話を聞くことができ、大変有意義であるとともに、時にはユーモアを交えながら、講義中に笑いがおこることも何度かありました。最後に、拒絶理由対応の素朴な疑問等に関して受講者が挙手により回答するアンケートや、本件の実施品の紹介があり、盛り沢山の内容となりました。



第 2 回目は、第 1 回目と同じ案件について、請求項 1 の補正内容と意見書での主張内容についてディスカッションを行いました。第 1 回目での「もっとディスカッションしたかった！」というリクエストにお応えするため、ディスカッションを 2 回設けるとともに、全員が第 1 回目のメンバーと異なるように班編成を行いました。

グループ発表では、「ディスカッションが有意義でした」と感想を発表されるユニークなグループもありましたが、板谷先生の絶妙なコメントにより、そのような感想を持つことも大事なんだということも実感できました。

今回の研修で、他の方が起案したコメントや意見書・補正書を実際に見たり、他の方の意見を聞いたりすることによって、普段気づけなかったことを発見していただき、拒絶理由対応に磨きをかけていただけたのではないかと思います。

講師の板谷先生、及び本研修にご参加・ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。